

辨復

電報

及びおハガキ辨見。御謙遜で

すが、あの御詠草は決して不出來

とは思はれません。寧ろ自由な感

で平常のお作より面白い位に思

おましたので、小生としては誠に惜しく

不思議の感に堪へません。然し仰

せ止むなく中止致します。次号には

是非お願申上ます。

草々

五月二十日